

講義名	マネジメントサイエンス			授業形態	
担当教員	保田 洋	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

マネジメントサイエンスは経営上の問題を解決するために、問題の構造を明らかにし、モデル化し、そのモデルから導出される解を現実の問題解決に役立てようとするものため多くの業種・職種で適用が広く浸透している。
授業では代表的な手法を取り上げ、それらを解説することを通じて、受講生自らがモデル化し問題を解決することが出来るようになることを目的とする。

到達目標

経営上の問題を解決するために、問題の構造を明らかにできるようになる。
経営上の問題を問題解決のために、手法を活用できるようになる。

提出課題

講義の中で提示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義の中でフィードバックする。

評価の基準

授業内での小テスト（2回：50％）と課題（毎回15回：50％）で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

評価方法や授業の内容は初回の授業で説明するため、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。
この授業はパソコンを利用して授業を進めていく。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

必要に応じて、プリント又は教材を配布する。
参考文献は必要に応じて随時紹介する。

授業計画

1. 企業経営における問題
2. 統計の基本（基本統計）
3. 統計の基本（正規分布と偏差値）
4. 時系列データ分析（増減率、移動平均）
5. 時系列データ分析（自己相関）
6. データ分析（回帰分析）
7. データ分析（重回帰分析）
8. データ分析（数量化1類分析）
9. 中間まとめと演習
10. 資源の有効活用（線形計画法その1）
11. 資源の有効活用（線形計画法その2）
12. 科学的な計画立案（PERT 1）
13. 科学的な計画立案（PERT 2）
14. 様々なデータの分析
15. まとめと演習

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

以下内容を重視し、毎回予習・復習として4時間を目安として取り組むこと。
・事前学習として、事前に次回行う内容を話すのでキーワードと思われる所を調べておくこと。
・毎回課題を出題するので、授業のまとめを行いながら課題に取り組むこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を受講することで、問題点を理解するための基礎知識を身に付け、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができるようになること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中にパソコンを利用して演習問題を解いていくので、疑問に感じるところはその都度質問し、解決すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
現場での具体的な事例について解説する。

備考